

エコアクション21

環境経営レポート

(2023年度)

運用期間：2023年4月～2024年3月



株式会社 M・T・C

2024年4月26日 発行

環 境 経 営 方 針

環境理念



当社は保険業務を通じて

1. 「国家社会の恵に感謝する」
2. 「地域社会に貢献する」
を掲げ、全従業員が総力を結集して事業活動のあらゆる面で地球環境に影響を与えている事を考慮し行動します。
3. 国連が定めたSDGs（持続可能な開発目標）の達成に向け、エコアクション21活動を効果的に推進します。

行動指針

当社は環境経営システムを構築し最重要課題とし、環境経営の継続的改善に取り組みます。

1. 地球温暖化防止の一環として消費電力の削減に努めます。
2. エコ運転を実施し二酸化炭素排出量の削減をします。
3. 廃棄物の削減を実施しリサイクル活動の推進に努めます。
4. 水資源使用量の節減に努めます。
5. この環境経営方針は教育や日常生活を通じて全従業員に周知します。
6. 環境関連法規を遵守します。
7. 備品等購入時にはECOマーク商品を選んで購入します。
8. 地域での環境保全への貢献や啓発活動に努めます。

2010年4月1日 制定
2022年1月1日最終改訂

株式会社M・T・C
代表取締役 岡村 典子

1. 事業の概要

事業所名 株式会社M・T・C
代表者名 代表取締役 岡村 典子
所在地 本店 〒755-0076 宇部市大小路3-8-36
大内店 〒753-0211 山口市大内長野581
周南店 〒745-0027 周南市糺町2丁目28番地
小倉店 〒802-0015 北九州市小倉北区大田町1-23
遠電ビル2F

環境管理責任者 代表取締役 岡村 典子
連絡担当者 山田 さゆり
連絡先 TEL 0836-21-4777
FAX 0836-21-4727
E-mail noriko.okamura@jp-mtc.com

事業の内容 生命保険・損害保険代理店業

事業の規模

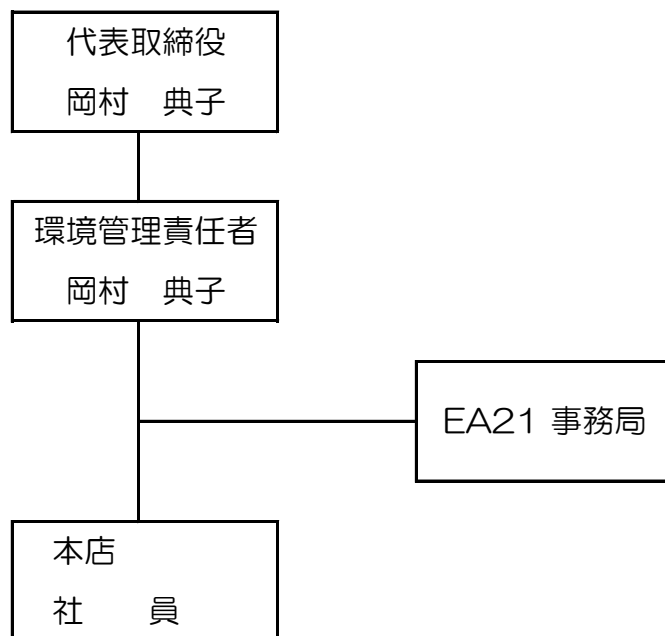
	単位	2021年度	2022年度	2023年度
契約保有高	百万円	非公開	非公開	非公開
従業員数	人	9	9	11
床面積	m ²	123	123	123

当社の事業年度 4月1日から翌年3月31日

認証・登録の範囲 本店のみ。

※ 2018年8月6日、サイト認証／中央事務局認証済み

2. エコアクション21 実施体制



役割分担表

氏名	所属（役職）	役割・責任・権限
岡村 典子	代表者 （代表取締役）	E A 2 1 システムの統括・環境方針の策定・実施体制の構築・E A 2 1 推進に必要な資源の準備・全体の評価と見直し。
岡村 典子	環境管理責任者 （代表取締役）	全体の把握／環境経営システムを構築・運用・その状況を代表者に報告するとともに、指示を受ける。
E A 2 1 事務局		E A 2 1 文章及び記録の作成・維持・管理、電力・ガソリン・水道使用量の把握
本 店 ・ 社 員		環境経営目標の達成に向けた取組の実践

【SDGsに寄り添った環境経営目標の策定】

我が社は、SDGs（持続可能な開発目標）に有効な環境経営目標を策定したうえで、環境配慮にとどまらず幅広く社会貢献に挑戦します。

S D G s		エコアクション21における 環境経営目標
 	すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる	二酸化炭素排出量の削減 電力使用量の削減 ガソリン使用量の削減 灯油使用量の削減
	持続可能な生産消費形態を確保する	廃棄物排出量の削減
	すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する	総排水量の削減
	包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する	環境保全に配慮したサービス・保険商品の提供

3. 2023年度及び中期環境経営目標とその実績及び評価

項 目	単位	2020年度 (基準)	2023年度			中期環境目標		
			目標	実績 (目標比)	評価	2024年度	2025年度	2026年度
二酸化炭素排出量 の削減	kg-CO ₂	51,182	50,159	40,100	◎	49,647	49,391	49,135
			△2.0%	△25.1%		△3.0%	△3.5%	△4.0%
	kWh	18,593	18,221	14,360	◎	18,035	17,942	17,849
			△2.0%	△26.9%		△3.0%	△3.5%	△4.0%
	ℓ	17,393	17,045	12,710	◎	16,871	16,784	16,697
			△2.0%	△34.1%		△3.0%	△3.5%	△4.0%
	ℓ	280	280	280	○	280	280	280
			0%	0.0%		0%	0%	0%
廃棄物排出量	kg	—	削減に 努める	削減に 努めた	○	削減の努力を継続する		
総排水量（使用水量）	m ³	72	71.6	106	×	72.0	72.0	72.0
			(△0.5%)	47.2%		0%	0%	0%
環境保全に配慮した サービス・保険商品の提供	—	リサイクル部 品活用保険提 供	リサイクル部 品活用保険提 供	すべての顧客 にその採用を 提案	○	すべての顧客にリサイクル部品活用保険を提案する		

※1 2023年度は、本社社員1名増、これに伴うエネルギー使用量の増加を考慮した上で、環境経営目標を前年度と同水準とした。

※2 評価：◎：達成率 10%超 ○：達成率 10%以下～0%以上 △：未達成率 0%超～10%以下 ×：10%超

注1 PRTR特定化学物質を使用実態はないので、化学物質の使用の削減に関する目標は掲げていません。

注2 「廃棄物排出量」については取組成果が限界に達しており、かつ排出量がわずかなので、努力目標としました。

注4 購入電力の排出係数は0.545kg-CO₂（中国電力2021年度調整後排出係数）にて算出しました。

4. 環境経営活動計画（2023年度）

1. 二酸化炭素排出量の削減

50,159 kg-CO₂以下

環境経営目標	具体的活動項目
電力使用量の削減	照明の適正管理
	昼休みの消灯
18,221 kWh以下	残業時の不要な照明の消灯
	屋外照明の点灯時間を日照時間により変更管理
ガソリン使用量の削減	急発進・アイドリングを削減・エコドライブの推進
17,045 ㍓以下	
灯油使用量の削減	暖房の抑制
280 ㍓以下	

2. 廃棄物の排出量削減

環境経営目標	具体的活動項目
一般廃棄物の排出量削減	パンフレット等の過剰在庫を削減
	ペーパーレス化の徹底
削減に努める	電子メールの活用

3. 総排水量（使用水量）の削減

環境経営目標	具体的活動項目
総排水量（使用水量）の削減	業務全般にわたる節水運動（常に基本料の範囲内に抑える）
71.6 m ³ 以下	

4. 環境保全に配慮したサービス・保険商品の提供

リサイクル部品活用保険提供

環境経営目標	具体的活動項目
リサイクル部品活用保険の提供	すべての顧客にリサイクル部品を使った修理を提案する。

5. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

環境経営目標		環境経営計画の取組結果	判定	次年度の環境経営計画
CO ₂ 排出量の削減		以下のエネルギー資源に示す通り	○	以下のエネルギー資源に示す通りの計画を遂行する。
エネルギー資源	電力	照明の適正管理、昼休みの消灯、残業時の不要な照明の消灯、屋外照明の点灯時間季節により変更管理を励行した。	○	取組成果を挙げられたので、引き続き左記計画を継続する。
	ガソリン	急発進・アイドリングを削減・エコドライブの励行した。	○	取組成果を挙げられたので、引き続き左記計画を遂行する。
	灯油	時間外勤務増、気温の影響を受け、目標はやや未達成であったが、暖房は意識して抑制した。	○	気候や業務量の増減影響を受けやすいが、極力灯油暖房を抑制する。
廃棄物排出量の削減		パンフレット等の過剰在庫を削減、ペーパーレス化の徹底、電子メールの活用を徹底した。	○	取組成果を挙げられたので、引き続き左記計画を継続する。
総排水量（水使用量）の削減		業務全般にわたる節水運動を徹底したが、気の緩みが生じた。	×	改めて節水の励行に挑戦する。
環境保全に配慮したサービス・保険商品の提供		すべての顧客にリサイクル部品を使った修理を提案した。	○	取組成果を挙げられたので、引き続き左記計画を継続する。

6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無

当社に係る環境関連法規等の遵守状況は下表のとおりです。

いずれも法令義務を果たしており、エコアクション21の取組開始（2010年1月）以降、関係当局からの違反の指摘、利害関係者からの訴訟は発生していません。

環境関連法規制等登録簿（順守評価記録）

順守評価実施日： 2024年4月25日

	承認	作成
登録	環境管理責任者	環境事務局
順守評価	環境管理責任者	環境事務局

法規制等の名称	該当する要求事項	関連条例 による規制	該当する 設備・項目	点検・測定頻 度、実施時期	届出・報告等					順守評価	
					許可	届出	報告	資格	届出先	証拠	判定
廃棄物処理法	【一般廃棄物の排出】 一般廃棄物処理許可業者 へ委託	宇部市のルール による分別排出	一般廃棄物 （紙くず等）	収集業者の 許可証確認 1回／年					—	2024年4月25日 市のルールに沿った分 別排出実施履行確認	○
フロン 排出抑制法	【空調機の点検】 簡易点検の実施及び記録 の作成	—	空調機	3ヶ月ごとに 実施					—	2024年4月25日 簡易点検記録簿記載済 み	○

2024年4月26日

記録者： 岡村典子

代表者による全体の取組状況の評価および見直し・指示

評価および見直しの実施年月日		2024年4月26日
評価者名（代表者名）		代表取締役 岡村 典子
評価及び見直しに参加した人		管理責任者 岡村 典子、 エコアクション21事務局 山田 さゆり
結果及び 評価	環境経営システムが 有効に機能している か	日々の取組が二酸化炭素排出量の目標達成につながっており、環境経営システムは有効に機能している。
	環境への取組は適切 に実施されているか	環境への取組は積極的かつ適切に実施している。 ・社員は環境配慮活動を能動的に取り組んでおり、エコアクション21活動は定着してきた。 ・併せて、SDGsの目標達成に向けた環境配慮上の主要取組としてエコアクション21を位置づけ、社員は、常にこれを意識しながら活動している。
見直し・指示 （変更の必要 性・指示）	環境経営方針変更の 必要性	エコアクション21は十分な成果を挙げており、現時点変更する必要はない。
	環境経営目標 変更の必要性	2023年度は十分な取組成果を挙げたので、これを踏まえて、さらに積極的な目標を掲げることが必要である。 ただ、小規模事務所であることから、水使用量の削減は限界に近づいていると判断されるので、次期取組では適正な目標を策定することが必要である。
	環境経営計画 変更の必要性	現在の環境経営計画で取組可能と考えているが、目標達成につながる計画を考慮する必要がある。
	実施体制 変更の必要性	変更の必要はない。
	全体の見直し	上記を踏まえて必要な見直しを行うこと。